



# あけましておめでとうございます。 2021年もよろしくお祈いします。



仲嶺 真弓

2021年、新しい年を迎えました。今年は“丑年”です。丑は、人間の生活に欠かせない動物で、勤勉によく働く姿が「誠実さ」を象徴し身近にいる縁起の良い動物として12支に加えられたという説もあります。日本に古くから伝わる民話の中でも、神様への新年の挨拶で、12支では2番目になったけれど、自分の事をよく知り（歩みの遅さ）、誰よりも早く出発したことから、その由来が伝わってきます。

2020年は、コロナ禍で、自分たちが大切にしてきた数々のことは、何が一番大切なのか、究極の選択を迫られることが多く、そのつど立ち止まり考える事が多い年でした。けれどそれは同時に、根底にある大切にしていたことは何かに、改めて気付かせてもらえた日々でもありました。コロナが落ち着くにはもうしばらくかかりそうですが、そのことをベースに、2021年も、芽吹きを迎える日のために、しっかり上を向いて先を急がず、一步一步着実に物事を進めることを大切にしていきたいと思います。

本年も、よろしくお祈いします。

池本美和

あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお祈いします。

2020年を振り返ってみると、当たり前だった保育園での生活が当たり前でなくなったこと、今まで行われていた園行事が中止や延期になり、いつもと違うことで悩む日々でしたが、そのような中でも、変わらずに元気な子どもたちの姿や保護者の方から力をもらう毎日でした。そして、保育園OBの中尾さんは、子どもたちの為にと去年も畑を貸して頂いたこと、5歳児の子どもたちが消防署見学に行ったときには、消防署の方が丁寧に子どもたちに見学させて頂いたことなど、地域の方の変わらない温かい思いに感謝の気持ちでいっぱいでした。

2021年が始まりました。子どもたちを中心に園に関わるみんなが笑顔で過ごせるように、今年も一緒に歩ませてください。どうぞよろしくお祈いいたします。

## 事務室の窓から(不定期コーナー)

～その時どう考えるか試される～

事務室 一森すずえ

あけましておめでとうございます。昨年の今頃は今年の幕開けがこのような世の中の状況になっていると誰が予測していたでしょうか。オリンピックが延期され、さらに今年の開催すら危ぶまれています。私は運よく開会式のチケットが当たっており、お休みも確保させてもらっていました。車椅子の娘と2人で向かう東京には不安はあったものの昨年一番の楽しみでした。この世にはまさかのことが起こるのだと身に染みて感じた2020年でした。こういうことは、人のちょっとした隙をついてやってくるのだと思います。しかし、コトが起こったとき、どう考え行動するのか人は試されています。そう考えて、年末年始どう過ごすのか、これを書いている今それを逆に楽しもうと考えを巡らせています。

年末の保育所継続申請へのご協力ありがとうございました。ほぼ9割以上の家庭と話せることができました。全家庭にこんなやり取り毎年大変ですねという声掛けもいただきましたが、私にとって各家庭を知ることのできる貴重な機会です。面談終了後には距離が近くなった実感があります。ぜひこの機会でもなくとも、いつでも「ちょっと聞いて」とお立ち寄りください。

いつも事務室ページの感想ありがとうございます。ぜひ感想日報に書いてお伝えください。今年もよろしくお祈いします。